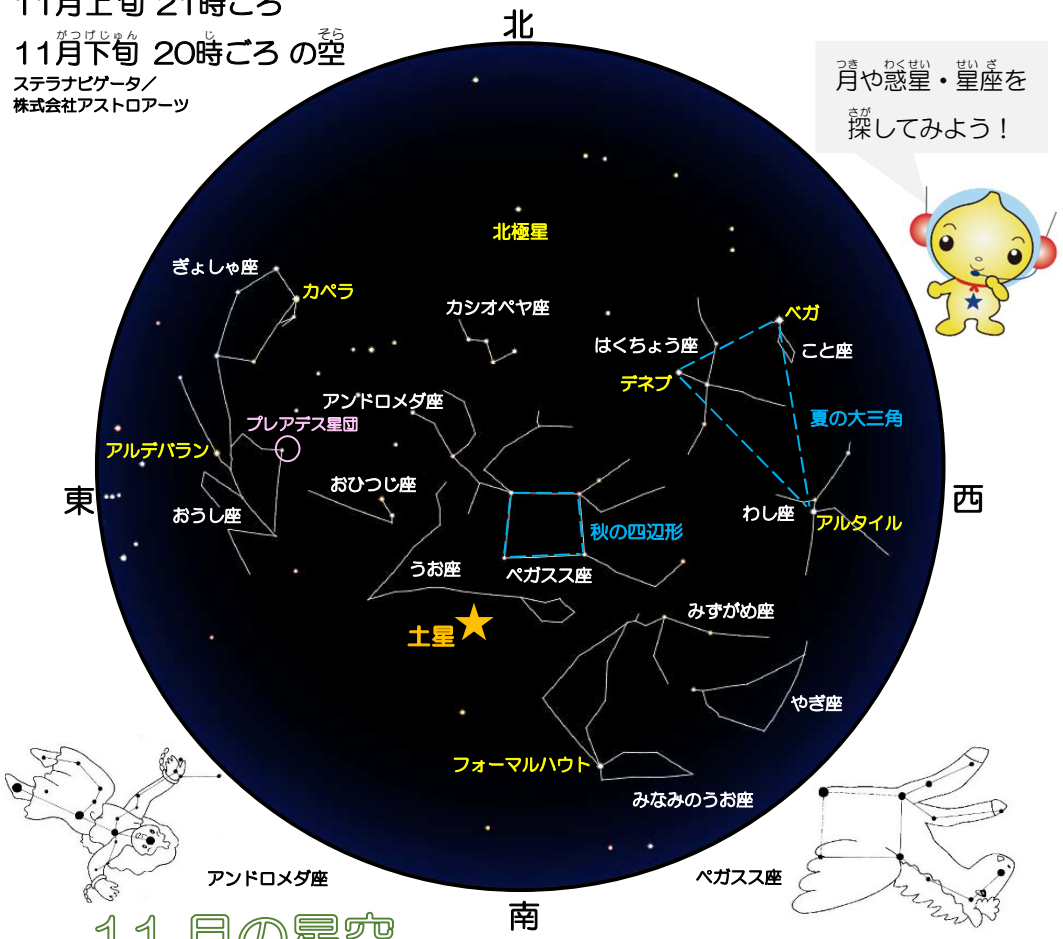
月刊 星空の散歩道 11月号

2026年

11月上旬 21時ごろ
11月下旬 20時ごろ の空

ステラナビゲータ／
株式会社アストロアーツ



月や惑星・星座を探してみよう！

11月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

夏の星座は西の空、秋の星座は南と天頂、冬の星座は東の空に見えています。

- ＜西＞ こと座（ベガ）、わし座（アルタイル）、はくちょう座（デネブ）
- ＜天頂＞ ペガスス座、アンドロメダ座
- ＜南＞ みなみのうお座（フォーマルハウト）
- ＜東＞ ぎょしゃ座（カペラ）、おうし座（アルデバラン）
- ＜北＞ 北極星、カシオペヤ座

☆天文トピック☆

11月15～18日　火星と木星が接近

２惑星は真夜中、東の空に昇ってきます。観察をするなら、高さも十分にある明け方がおすすめです。

11月24日　プレアデス星団食

18時30分～20時頃、月がプレアデス星団（昴）の前を通り過ぎるため、星々を隠していくように見えます。双眼鏡や望遠鏡を使って見てみましょう。

☆月の形の変化☆

11月 2日	下弦	◑
11月 9日	新月	●
11月17日	上弦	◑
11月24日	満月	○

☆11月の惑星☆

土星…日没後、南東の空
火星…明け方、南東の空
木星…明け方、南東の空
金星…明け方、東の空低く（下旬）

＜天文コラム＞　流星痕

いつ、空のどこに流れるか、わからない流星。予測できないからこそ、見つけた時はびっくりするとともに、自分だけが珍しいものを見られたという嬉しさもあります。

流星の正体は宇宙に浮遊する１ミリ程度の小さなチリの粒です。ひとたび地球の大気に飛び込むと、ときには緑や赤に発色し、美しい流星として楽しませてくれます。

流星は、それぞれ大きさも明るさも違います。時には地上が一瞬、明るく輝くほどのものが飛ぶこともあります。なかでもマイナス４等(＊)以上の明るい流星は火球と呼ばれます。

また、流星が通った跡にうっすらと煙のようなものが見えることがあり、これを流星痕と言います。通常の明るい流星が飛んだ痕は数秒で消えてしまいますが、火球の場合は時に数分間も夜空を漂うように残り続けることがあり、永続痕とも呼ばれます。流星痕は、やがて大気に紛れて薄くなり、消えていきますが、その観測から、上空の大気の動きを詳しく知ることもあるようです。

流れ星を見る時には、飛んだ後の様子にも注目してみてくださいね。



しし座流星雨の際に出現した数分間見えた流星痕
（2001年当館職員撮影）

(＊)宵の明星「金星」は、マイナス４等程度

伊丹市立こども文化科学館　発行日　2026年10月20日
〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36　TEL：(072)784-1222